

2025年度 和歌山市立東中学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 上原 一弥

作成日 2025年 5月 1日

和歌山市学校教育指針（重点課題）

- 確かな学力の育成
- 道德教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 思いやりのある子供を育ててほしい
- たくましい子供を育ててほしい

【学 校 教 育 目 標】

自ら考え思いやりのある個性豊かな
たくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・向学心のある生徒
- ・個性豊かな生徒
- ・たくましい生徒
- ・思いやりのある生徒

前年度の学校評価

- 落ち着いた態度で、人懐っこく、授業や教育活動を行える
- 情報の周知において、小学区との連携や生徒と保護者への周知方法の改善が必要である
- 地域や小学校との連携を一層深めてほしい
- 家庭での避難に関する意識の向上する機会を設ける。

生徒の実態

- 落ち着いた真面目な授業態度で臨んでおり、学力向上につながっている
- 主体的に考え行動できる生徒が少ない
- 読書習慣があまり身につけていない
- 自己肯定感が低い生徒が多い

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- 主体的な学びの形成
- 家庭学習の定着

豊かな心の育成

- 道德・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- 体力向上の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 危機管理力の育成

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携
- 小学校等との連携協力
- 外部資源の活用

◎：特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」に則った授業を行う
- 「学び合い」を取り入れタブレットPCを積極的にユニバーサルデザインとして活用した授業改善を行う
- 家庭学習の習慣を身につけさせるため、宿題の取り組みを進める
- 子供の多様性を理解し、ユニバーサルデザインを授業や学級経営に意識的・積極的に取り入れる。
- 定期的に放課後補習等を実施する
- 朝読書を定期的に行うなど、読書活動の推進を図る。

- 道徳的实践力を養うために、道徳の授業と授業・行事との連携を意識する
- いじめアンケートや教育相談を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会をもつ
- 人権・同和教育に組織的・計画的に取り組む
- 生徒の多様性に対し、通級や別室での個別最適化の指導を可能な限り進める
- 部活動・生徒会活動を工夫し、自己有用感、所属感、連帯感、達成感の高揚に取り組む。

- 全国体力・運動能力調査の結果を参考に体力の向上を図る
- 体育や体育行事、部活動等を通して、体力、健康の増進に取り組む
- 「早寝、早起き、朝ご飯」を推奨する
- 昼食指導や保健だよりなどを通して食育に取り組む
- 日々の安全指導や避難訓練、交通安全教室を計画的に行うことで、危機管理力（リスクマネジメント・クライシスマネジメント）を育成する
- 自分の心や行動を律する術や大切にすることの重要性を学ぶ機会を設ける。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報発信に努める
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う
- 校区内の学校との連携を推進・充実する
- ゲストティーチャー、部活動指導員や学生ボランティア等の活用を図る

指標

- ・県学習到達度調査や全国学力学習状況調査で全教科の正答数が県平均を上回る
- ・授業が楽しくわかりやすい（生徒肯定的回答85%以上）

- ・学校が楽しい（生徒肯定的回答95%以上）
- ・みんな、気持ちの良い挨拶をしている（生徒肯定的回答85%以上）
- ・教育相談の毎学期実施
- ・いじめの解消率100%

- ・規則正しい生活をし、遅刻ゼロを目指す
- ・全国体力・運動能力調査で全国平均を上回る
- ・悩みや辛さを共感しあえる集団作り

- ・子供の活動の様子を分かりやすく伝えている（保護者肯定的回答80%以上）
- ・校区の小学校と定期的に情報交換を行う